

受付印		特 別 養 子 縁 組 申 立 書	
		(この欄に収入印紙800円分を貼ってください。)	
収入印紙	円		
予納郵便切手	円	(貼った印紙に押印しないでください。)	

準口頭	関連事件番号 令和 年(家)第 号
-----	-------------------

家庭裁判所 御中	申立人ら (養親となる者)	印
令和 年 月 日	の記名押印	印

添 付 資 料
<p>(同じ書類は1通で足够了。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)</p> <input type="checkbox"/> 申立人ら(養親となる者)の戸籍謄本(全部事項証明書) <input type="checkbox"/> ※児童相談所長が特別養子適格の確認の申立てを行っている場合は、以下の資料も提出してください。 <input type="checkbox"/> 養子となる者の戸籍謄本(全部事項証明書) <input type="checkbox"/> 養子となる者の実父母の戸籍謄本(全部事項証明書) <input type="checkbox"/> 児童相談所長の申立てによる特別養子適格の確認の審判の確定証明書(既に確定している場合)

特別養子適格の確認の審判事件の申立状況
1 申立人らが同時申立て 2 児童相談所長が申立て(事件の表示及び事件の進行状況も記載してください。) 事件の表示: 家庭裁判所 支部・出張所 令和 年(家)第 号 上記事件の進行状況: 1 係属中 2 確定(令和 年 月 日確定)

当 事 者 及 び 関 係 者
別紙「当事者及び関係者目録」記載のとおり

申 立 て の 趣 旨
養子となる者を申立人らの特別養子とするとの審判を求める。

申 立 て の 理 由 (申 立 て の 動 機 ・ 事 情 等)
別紙「申立ての理由」記載のとおり

申 立 人 ら の 生 活 状 況 等
別紙「申立人らの生活状況等」記載のとおり

(注) 太枠の中だけ記入してください。

(別紙)

当事者及び関係者目録		
申立人ら	住所	〒 _____ 電話 (_____) (_____ 方)
	フリガナ氏名 (養父となる者)	昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生
	フリガナ氏名 (養母となる者)	昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生
養子となる者	住所	〒 _____ 電話 (_____) (_____ 方)
	フリガナ氏名	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日生
養子となる者の父 (実父)	住所	〒 _____ 電話 (_____) (_____ 方)
	フリガナ氏名	昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生
養子となる者の母 (実母)	住所	〒 _____ 電話 (_____) (_____ 方)
	フリガナ氏名	昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生
※1 〔 _____ 〕	住所	〒 _____ 電話 (_____) (_____ 方)
	フリガナ氏名	昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生
※1 〔 _____ 〕	住所	〒 _____ 電話 (_____) (_____ 方)
	フリガナ氏名	昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生
※2 を縁組のあつせん を受けた機関等	住所 (所在地)	〒 _____ 電話 (_____)
	フリガナ氏名 (名称)	

※1 養子となる者に実父母のほかに養父母がある場合には、それぞれについて、養子となる者に未成年後見人、父母以外で親権を行う者（父母が未成年であるときのその父母又は未成年後見人、審判前の保全処分によって選任された親権者又は未成年後見人の職務代行者、児童福祉法第47条第1項又は第2項の児童福祉施設の長等）又は監護者がある場合には、これらの者について、かっこ内に養子となる者との関係を特定した上、所要事項を記入してください。

※2 児童相談所又は養子縁組をあっせんする事業を行う者からあっせんを受けた場合に記入してください。
なお、審判の結果は、当該機関等にも通知されます。

(別 紙)

※3	申立ての理由

※3 申立ての理由には、申立ての動機、経緯のほかに、ア 申立ての時点において、養子となる者の年齢が15歳に達している場合は、15歳に達するまでに申立てをすることができなかつたことについてのやむを得ない事由、イ 未成年後見人、父母以外で親権を行う者の意向等を記入してください。なお、この申立書は、利害関係人が閲覧や謄写をする可能性がありますので、その点にご留意のうえ、簡潔に記載してください。

(別 紙)

申 立 人 ら の 生 活 状 況 等		
	養父となる者	養母となる者
職 業 (勤務先)		
収 入 等	月収 (平均) 万円くらい 主な資産等	月収 (平均) 万円くらい 主な資産等
子の有無	1 無 2 有 (男 人 女 人)	1 無 2 有 (男 人 女 人)
婚姻の日	昭和 平成 年 月 日 令和	
住宅事情	1 自宅 2 社宅等 3 アパート 4 借家 5 その他 ()	
同居家族等 (氏名, 続柄, 年齢)	(申立人ら, 養子となる者を除く)	
養子となる者 の通園・通学 先又は勤務先		
養子となる者 の監護の有無 (申立時)	申立人らによる養子となる者の監護状況 1 有: 監護開始年月日 平成・令和 年 月 日 (監護開始時の子の年齢 歳 月) 2 無: 監護開始予定日 平成・令和 年 月 日	
監護の経緯		
※ 4		
監護状況等		

※ 4 監護状況等については、養子となる者の縁組についての意向（意向を確認していない場合は不要）のほか、ア 養子となる者に対する健康上の配慮、教育的関心及び配慮等、養子となる者との情緒的交流及び親密さの程度、イ 養子となる者の心身の発達の経過、同居後の家庭の人間関係と雰囲気、ウ 今後の監護教育についての意向等を記入してください。なお、この申立書は、利害関係人が閲覧や謄写をすることがありますので、その点にご留意のうえ、簡潔に記載してください。